

■□タイの産業開発戦略■□

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスの佐藤です。

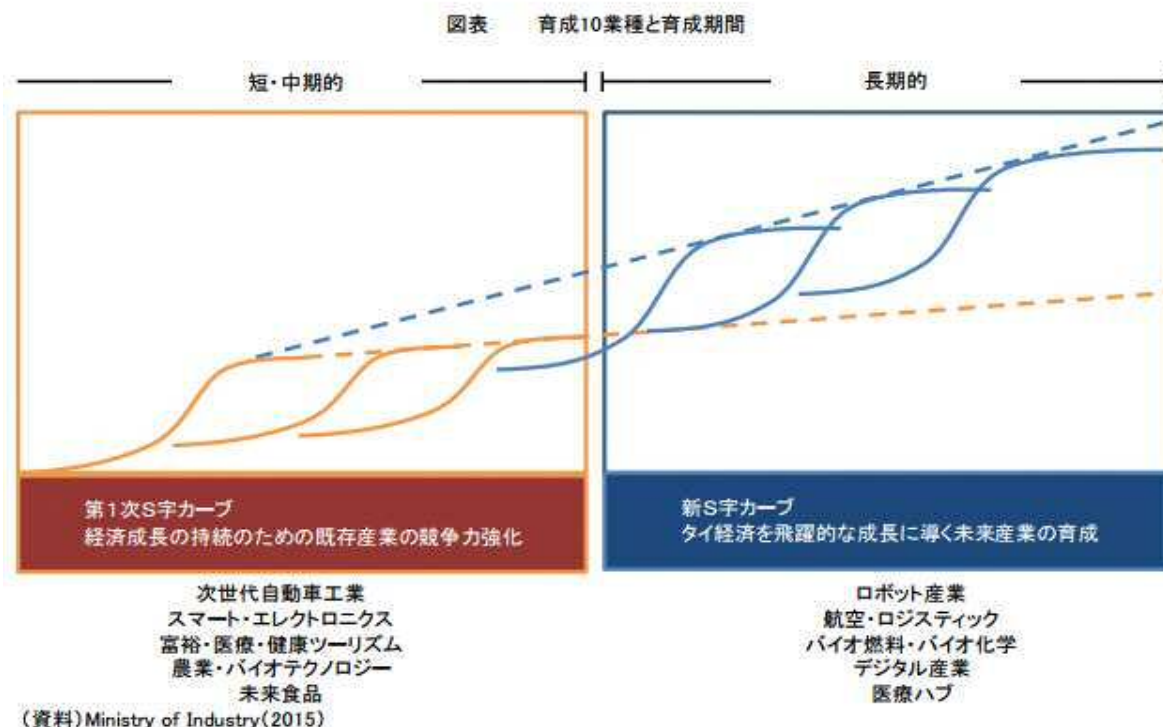
今月は、タイ政府が近年外資企業誘致において特に重点を置いている10種類の産業についてご紹介させていただきます。

10の重点産業とSカーブ

整ったインフラや、自動車産業を中心とした幅広い産業集積を誇るタイですが、他の振興アジア諸国と同様、経済成長率が減速傾向にあり、タイ政府は、更なる高所得国への移行に向け、先進国と肩を並べるだけの産業高度化を急務の課題と捉えています。工業製品の製造やサービス等の国際競争力を強化し、産業構造高度化を実現するため、タイの経済成長を牽引する産業として、以下の10種類の産業が挙げられています。

既存産業分野	① 次世代自動車工業 (Next Generation Automotive)
	② スマート・エレクトロニクス (SmartElectronics)
	③ 富裕・医療・健康ツーリズム (Affluence, Medical & Welfare Tourism)
	④ 農業・バイオテクノロジー (Agriculture and Biotechnology)
	⑤ 未来食品 (Food for the Future)
未来産業分野	⑥ ロボット産業 (Robotics)
	⑦ 航空・ロジスティック (Aviation and Logistics)
	⑧ バイオ燃料・バイオ化学 (Biofuels and Biochemical)
	⑨ デジタル産業 (Digital)
	⑩ 医療ハブ (Medical Hub)

政府は、このうち①～⑤を既存産業分野、⑥～⑩を未来産業(新規産業分野)と区分し、時期を分けて育成する計画を示しています。短期・中期的の目標として、①～⑤の産業を育成することで既存産業のレベルを上げ、更なる経済成長の持続性を確保し(下記図表の第1次S字カーブに相当)、長期的には⑥～⑩の未来産業を育成することで、新規産業を創出し、タイ経済の飛躍的な成長を実現し(下記図表の新S字カーブに相当)、高所得国へ移行するという計画です。



上記の産業開発戦略がタイ政府より発表されたのは2015年11月のことですが、「10業種」「Sカーブ」のキーワードは、国が掲げる政策として既に浸透してきており、日タイのビジネスマッチングやタイ国内のセミナー等の場で、頻りに耳にします。タイ現地の支援機関もまた、この主要10業種に関連する外資企業の誘致に積極的です。、タイ国内では連日さまざまな展示会や商談会が開催されていますが、上記10業種に該当する日系企業との合弁、技術提携、委託生産を目的とした商談を目的としたタイ企業の参加が多い状況にあります。タイがより付加価値の高い製品の製造やサービスの提供を行うことを目指していることが見て取れます。中小企業にとって、タイでこれから事業を展開させていくうえでは、タイの経済社会に貢献する事業分野であることも必要とされると考えます。

☆☆タイから便り☆☆

～タイの観光スポット「ラムパーン県 の温泉」～

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ビューです。

島根県は温泉の観光名所としても有名だと聞いたことがありますが、タイ国内にも沢山の温泉地があることをご存知でしょうか。今回は、バンコクから約600キロ離れたタイの北部にあ

る、ラムパーン県の温泉スポットをご紹介します
たいと思います。ラムパーン県の市街地から
さらに72キロの場所にあるチェーソン国立公
園は、6段の滝と、4800㎡もの広大な天然温
泉があることで有名です。温泉の温度は82度
と高温で、卵を入れて15分待つと、温泉卵を
作ることができます。



高温の源泉で温泉玉を作ることができます。



滝からの水と源泉が混ざり合うポイント

滝から流れ込んだ水が高温の源泉と混ざり合うポイントは、人肌に丁度良い温水で、多くの人が足を浸して温浴を楽しんでいます。タイ人はシャイなので、家族や同姓同士でも日本のように服を脱いで同じお風呂に入る習慣がありません。貸切の個室風呂があるので（大人50パーツ、子供20パーツ）、そこでパートウンという布を巻いて入浴します（レンタル可）。



貸切の個室風呂

旅行で宿泊されたい方は、チェーソン国立公園の中にある宿泊施設や、キャンプ場（テントの貸出有）を利用することもできます。母の実家がラムパーン県にあるので、私は去年のお正月に、家族と一緒にここを訪れました。連休だったこともあり、観光客が多く、貸切風呂を45分程待っている間に、隣にあるタイ古式マッサージでマッサージを受けてから入浴しました。温泉卵を食べ、ごろごろしながら一日を過ごし、とてもリラックスすることができました。私のお勧めの観光スポットです。

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当；佐藤 Sato

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人（島根県より業務委託）

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

▶ タイ経済指標

項目	単位	2014	2015	2016	2017
GDP 成長率	前年比ベ (%)	0.9	2.8	3.2	3.2(16年)
人口*	千人	67,065	67,293	67,506	67,522(1月)
労働者の数*	千人	38,963	39,165	37,792	38,381(2月)
失業率**	%	0.84	0.89	0.99	1.15(2月)
最低賃金*	バンコク	300	300	300	310(3月)
	チョンブリー	300	300	300	308(3月)
	アユタヤー	300	300	300	308(3月)
	ラヨーン	300	300	300	308(3月)
賃金:全国製造業の平均	バーツ	12,074	12,305	12,402	12,168(2月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.90	▲0.90	0.19	1.50(2月)
中央銀行政策金利*	%	2.00	1.50	1.50	1.50(3月)
普通貯金率**	%	0.59	0.56	0.47	0.47(3月)
ローン金利(MLR)**	%	6.96	6.75	6.47	6.43(3月)
SET 指数*	1975年:100	1,497.7	1,288.0	1,542.9	1,575.1(3月)
バーツ/100円**	バーツ	30.77	28.31	32.53	30.91(3月)
バーツ/米ドル**	バーツ	32.48	34.25	35.30	35.12(3月)
円/米ドル**	円	105.84	121.0	108.8	113.6(3月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	884,346	795,905	765,593	140,463(2月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,662	2,237	1,688	202(2月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	729.4	809.4	861.3	55.3(2月)

*期末、**平均